

日本FP協会千葉支部 2023年度活動方針

NPO法人日本FP協会千葉支部では、今年度以下の活動を行います。

1. 一般社会におけるFPの認知度を高めるための活動として、県内各地においてFPフォーラムを開催します。
今年度は、6月に市川市、11月に船橋市でフォーラムを開催します。
また、2月に千葉市と千葉市生涯学習センターとの共催開催も例年通り開催する予定です。
その他、昨年度に引き続き、ライフプランセミナー（ワークショップ型）を開催致します。
2. 県内FPの継続教育のために、継続研修会を開催します。
毎年、年3回の継続研修会を開催しています。今年度の研修会は5月に千葉市、その後10月と2月に開催いたします。
また、会員になられてから3年以内の方向けのウェルカム研修を7月に予定しております。
3. 県内SGの活動を支部として支援いたします。
現在17のSG（スタディ・グループ）が県内各地で活動していますが、各SGの活動を支援するとともに、SGメンバー募集などについても勧めていきます。
4. 千葉支部の活動を会員の方々に知っていただくとともに、そのネットワークを広げることを目的としてホームページ、SNSを活用していきます。
FPフォーラム、研修会などの広報とともに、支部と会員の方々との交流の場となればと思っています。

現在、FP協会千葉支部の会員数は約12,219人（2023年2月現在）です。
一般社会におけるFPの認知度は以前に比べると上がってきてはいますが、FPが実際にどのようなことを行なっているかを知っている方はまだ少ないのが実情ではないでしょうか。
一方、変化の激しい社会において、FPに相談したいと思っている方が増えていることも事実です。
上記の活動を通して、「FPとしての研鑽」を積み、社会における「FPの存在意義の増大」が図れることを今年度の活動基本方針といたします。

●フォーラム委員会（滝沢美恵子）

フォーラム委員会では、地域の生活者の皆様に役立つ情報をお届けできるよう、わかりやすく楽しいフォーラム開催を目指して、企画・運営を担います。

また、今年度のフォーラム開催は、6月17日「山崎製パン企業年金基金会館」におけるオンライン同時開催（会場参加とオンライン参加を組み合わせたハイブリッド方式）となる「フォーラム2023in市川」からスタートいたします。

続いて『FPの日®』として11月5日には、「船橋市勤労市民センター」での3年連続の開催、2024年2月には、すっかり定着しました千葉市及び千葉市生涯学習センターとの共催である「消費生活講座」の中で、より多くの集客を図りながら、FPの認知度向上と地域に対する社会貢献に努めます。

<具体的な取り組み>

1. フォーラム会場、セミナーテーマ及び講師等について検討し、より充実した内容の決定を目指します。
2. セミナーでは、タイムリーなテーマを中心に役立つ情報を提供します。
3. 無料体験相談会では、無料で、お金に関する質問に専門家であるFP（千葉支部幹事・運営委員）がお答えします。
4. 金融経済教育として、「おこづかいゲーム」と「ライフプランゲーム」を再開します。
5. 「また参加したい」「勉強になりました」等のお声を参加者の皆様から頂けるよう尽力します。

●広報委員会（近藤喜隆）

広報委員会では、FPの存在や活動をより多くの方々に知っていただけるような広報活動を行っております。

<基本方針>

- ・支部主催イベント（FPフォーラム）開催を通じた広報活動
生活者の方々が、FPとその活動をより身近に感じられるような広報活動を行ってまいります。
- ・その他支部活動全般の広報活動

<活動内容>

1. FPフォーラムの広報活動：チラシ作成・新聞折込、ホームページ掲載、広報紙、マスメディアへの取材要請、SNS
2. その他支部主催イベントのチラシ作成等

●研修委員会（宮田則子）

研修委員会は、千葉支部主催の継続教育研修会の企画・運営を行います。

2022年度は、感染症対策に留意しながら約2年ぶりにウェルカム研修会を含む継続教育研修会を4回開催することができました。今年度も安心してご参加いただけるよう留意し5月、10月、2024年2月に開催いたします。また、7月にウェルカム研修会も予定しております。

研修委員会では、研修会の企画に際し、会員の皆様が参加しやすい会場選定、知識と情報の向上に役立つ内容、経験豊かな講師選定を心がけております。またテーマも偏りがないよう企画します。

新しい生活様式や価値観が生まれ、それに伴い知識や情報の向上が必要不可欠となっています。会員の皆様、積極的にご参加いただける研修会の企画・運営に努めて参ります。

●金銭教育開発委員会（坂部明代）

金銭教育開発委員会では、千葉支部が開発した、子供向けの「おこづかいゲーム」、大人向けの「ライフプランゲーム」の運営・管理を行っています。ゲームの性質上、感染対策の徹底が難しいため、開催の可否は慎重に検討中です。

2022年4月、18歳成人がスタートしました。コロナ禍でも、子供たちに「18歳で大人になること」を学んでほしいので、新企画を提案していきます。

2022年度、新たな取り組みとして、親子で参加する子ども向けセミナー「お金のがっこう」を制作しました。これまでに2回、『FPの日[®]』と「消費生活講座」（千葉市と共催）で開催しています。①お金の循環とお札、②携帯・スマホで知ってほしいこと、③FPを体験しよう、といった盛りだくさんのテーマで、楽しく学んでいただきました。

2023年度、新型コロナウイルス感染症拡大のため自粛していた、子ども向けの「おこづかいゲーム」、大人向けの「ライフプランゲーム」を再開します。「FPフォーラム in 市川」（6月17日、山崎製パン企業年金基金会館）、『FPの日[®]』フォーラム（11月5日、船橋市勤労市民センター）で開催予定です。感染対策に気をつけながら運営していきますので、ご参加をお待ちしています。

●SG委員会（堀川仁）

千葉県内には17のスタディ・グループ（SG）が活動しております。

スタディ・グループ（SG）とは、各地域の会員や有志の方によって継続的な勉強会を開催しているグループで、所定の要件を満たした勉強会に参加することで会員資格更新のための継続教育単位を申請することができます。

他業種やさまざまな経験をもった方とのネットワーク作りの場でもあり、ご自身のスキルアップにも活用されています。

新型コロナウイルスの感染防止対策を引続きおこない、それぞれのSGは会場利用の勉強会やWEB会議システムを利用したオンライン勉強会、両方で行うハイブリッド勉強会を実施しています。

<主な取り組み>

1. 継続教育研修会でのSG紹介／相談ブースの設置を通して、会員のみなさまに県内SGの活動内容を継続的に提供していきます。
2. 入会間もない会員のかたに向けて、ウェルカム研修会などでSGについての説明を行い、参加へのサポートを実施していきます。
3. SG代表者活動報告会を開催して、各SGがもつ問題点や課題についての意見交換の場を提供いたします。
4. これからのSG活動やSG制度についての検討事項について、情報収集を継続的に行っていきます。

●総務会計委員会（田中信之）

総務会計委員会は、支部事務局の協力を得て、支部組織活動の円滑な運営を目指して活動しています。主な業務は以下の通りです。

1. 幹事・運営委員会の運営（情勢に応じてオンラインの活用により効果的な運営を目指します。）
2. 支部事務所内で月2回（原則第2水曜日、第2水曜日）の無料体験相談会を開催いたします。
お金に関する様々な相談に専門の相談員がお答えいたします（1日2組）。
また、専門相談員については、定期研修、ロープレ研修等を通じて育成を行います。
3. 新規運営委員の入会時における対応業務を行います。
4. 支部における会計業務について、毎月点検を行います。
5. 上期・下期年2回、会計監査の対応（監事・支部長・総務会計委員長による）を行います。
6. ライフプランセミナー（キャッシュフロー表を学ぶ）の運営及び講師の育成を行います。

●支部運営サポート委員会（山村孝一郎）

長年の支部運営の経験、専門的な知見を活かして、他委員会による支部運営を支援することを目的としています。

<主な取り組み>

1. 各委員会と連携し、各々の活動をサポートします。
（イベント会場情報、タイムリーなテーマ、講師情報等について助言提案を行います）
2. FPの普及、活動の場の拡大を目指して、本部方針を踏まえて、県下行政機関等の情報を収集し、各委員会および本部にフィードバックします。
3. 新規会員の活動機会の創出およびフォローをします。